



一般社団法人Sany TOMI

令和5年度

事業報告書

令和5年4月1日～3月31日

概要

クラブ概要

一般社団法人Sany TOMI

理事長	篠原 博文
設立年月日	2022年2月22日
所在地	長野県東御市大日向319
電話番号	0268-55-3330
メールアドレス	info@sanytomi.com

子どもを中心に関わるみんなが元気になる柔らかな 「子ども旋風」をまきおこす土台となる

子どもたちが「元気で幸せ」だと、周りの大人も巻き込まれて笑顔になり、元気になり、触発されます。そんな環境を地域みんなで作っていききたい、支えていききたいという想いから、この理念を掲げました。

子どもたちが体を動かしたくなる気持ちを持つようになるよう、スポーツだけではなく、外遊びやからだを動かす楽しさが実感できるメニューを用意して、だれでも気軽に集まって体を動かす場がつかれるようにしていきます。

Sany TOMIは、“子どもたちの健全な育ちを応援し、成長を見守っていくことを活動の核とし、年齢、障がいあるなしに関係なく、地域みんながいつでも気軽にスポーツすることができるよう、生涯を通じて楽しむことができるクラブ”を目指していきます。

◆ 状況

令和5年度で2年目を迎え、初年度を踏まえ、システムの変更やスクールの見直しなどの変化が起きた年度となった。また、少しずつ市内での認知も増えていき、子どもたちの中でも「Sany」の名前が定着しつつある。更に市内イベント参加の声掛けも増えてきた。

スタッフ体制としては森山が新たに加わり、大きな戦力となってくれ、現場の力が更にアップしてきた。

2月には「Sany Fest.」として他団体も巻き込んだ一大イベントを開催し、初回にも関わらず300名を超える方に来場いただけた。

令和6年度に向けては、認知度を東御市内には引き続き、尽力する一方で近隣市町村への認知も拡げていきたい。また、新たなイベントの開催や既存のイベントも少しずつ変化を加えていくなど、立ち止まらない姿勢で前に推進していく。

トピックス

【日本体育大学体操部 夏合宿】

合宿期間 8月28日～9月1日

8月31日に学校訪問・交流&発表会を開催

学校訪問は4年ぶりの開催。学生が各小学校と北御牧中学校で体育の授業を実施。

それぞれの学校の要望によりマット運動の授業が主となった。北御牧中学校のみバレーボールの授業をという事でバレー部出身の学生がバレーボール指導をするなど日体大の学生らしい対応が見られた。

交流&発表会は久しぶりの定員制限なしの開催だった。関係者を含めると1,000名を超える入場者となり、大盛況の中の開催となった。

交流会ではマット運動や組体操、バランスボール、縄など様々なブースを学生が用意。子どもたちは学生や友達、保護者と一緒に運動遊びが楽しめた。

発表会は100名を超える学生のダイナミックな演技を見せてくれた。



【立科小学校運動会演技支援】

9月16日に開催をされた立科小学校運動会の演技作成及び指導を実施。

日体大体操部出身の鈴木及び森山による一味違った演技に小学校教員のみならず保護者からも喜んでいただいた。



トピックス

【Sany Fest. 2024】

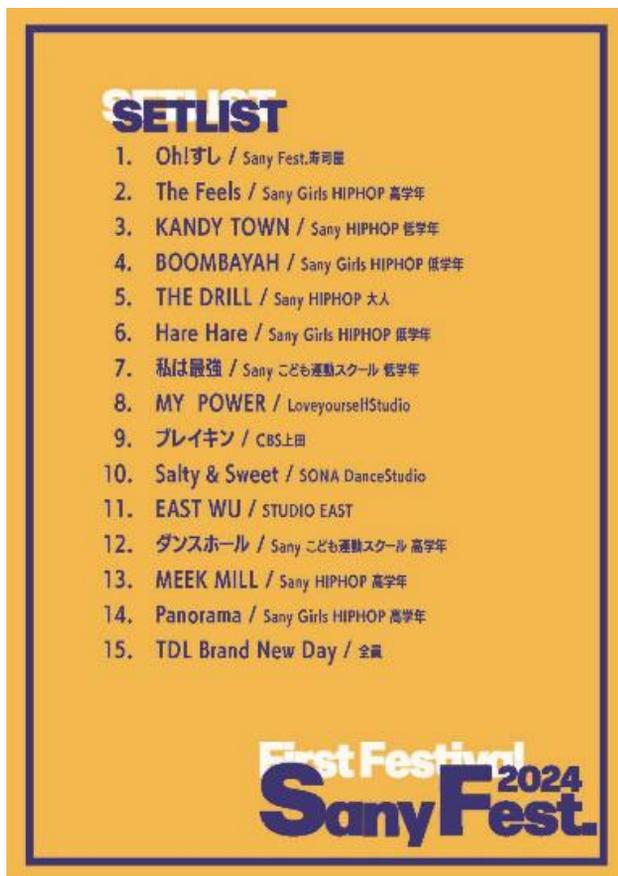
開催日 2月4日(日)

会場 東御市文化会館サンテラスホール

スケジュール

13:00 開場

13:30 開演



SETLIST

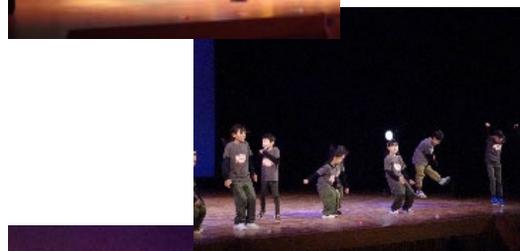
1. Oh!ずし / Sany Fest.寿可屋
2. The Feels / Sany Girls HIPHOP 高学年
3. KANDY TOWN / Sany HIPHOP 低学年
4. BOOMBAYAH / Sany Girls HIPHOP 低学年
5. THE DRILL / Sany HIPHOP 大人
6. Hare Hare / Sany Girls HIPHOP 低学年
7. 私は最強 / Sany こども運動スクール 低学年
8. MY POWER / LoveyourselfStudio
9. プレイキン / CBS上田
10. Salty & Sweet / SONA DanceStudio
11. EAST WU / STUDIO EAST
12. ダンスホール / Sany こども運動スクール 高学年
13. MEEK MILL / Sany HIPHOP 高学年
14. Panorama / Sany Girls HIPHOP 高学年
15. TDL Brand New Day / 全員

First Festival
Sany Fest. 2024

14:45 終演

出演

Sany TOMI：こども運動スクール、
ダンススクール（HIPHOP・Girls HIPHOP）
Loveyourselfstudio・CBS上田・SONA Dance Studio・STUDIO EAST



第一回Sany Fest.を無事開催でき、来場者が総勢306名となった。Sany TOMIのスクールだけでなく、他のダンススタジオにも声をかけ、合同イベントという形で開催をした。

ご来場いただいた皆さまからも「良かった」の声が多く聴けた。

毎年恒例イベントとして開催する予定でいる。

事業報告

定期開催プログラム - 主催事業 -

【こども運動スクール】

開催日：火曜日・金曜日

場 所：東御市ふれあい体育館

みまき福祉会ふれあいホール

対 象：小学1年～3年生 17：00～18：00

小学4年～6年生 18：15～19：15

定 員：各クラス10名

【スラックライン】

開催日：土曜日（月2回）

場 所：東御市ふれあい体育館

対 象：小学生～大人 14：30～16：00

定 員：20名

【ダンススクール】

★Girls' HIPHIP&K-POP

開催日：火曜日

場 所：東御市文化会館サンテラスホール リハーサル室

対 象：小学1年～4年生 17：30～18：30

小学5年～中学生 18：45～19：45

定 員：各クラス10名

★HIPHOP

開催日：水曜日

場 所：クラブハウス

対 象：小学1年～3年生 17：00～18：00

小学4年～6年生 18：15～19：15

大人(中学生以上) 19：30～20：30

定 員：各クラス10名

◆ 振替システムを導入

月1回のみ欠席分を振替可能・欠席した日の翌月末までに消化・上記のプログラム内であればどこでも振替可（例：HIPHOP会員がこども運動スクールへ振替）

他のプログラムの体験にも利用いただけている。

◆ 会員管理システム「Sgurum」導入

「Sgurum（スグラム）」は連絡事項やスケジュールの共有など円滑に行われることを目的としたアプリを導入した。新たにアプリのインストールの必要がある為、既存会員さまにはお手をかけてしまったが、連絡ツールとして定着しつつある。

【主な機能】

- 会員管理（入会、在籍、退会、体験）
- 決済機能（クレジット、コンビニ払い）
- 連絡帳

◆ こども運動スクール 木曜日クラス新設

4月より木曜日クラスを新規スタート。曜日の問題なのか、申込が少なく6月からだった。6月以降も一クラス2名と少ない人数での開催となった。10月からは会場を温泉アクティブセンター「ふれあいホール」に移動する。それに伴い、木曜日クラスを火曜日クラスに変更し、新規会員獲得に向けて販促を強化する。

◆ ダンススクール 「雷電まつり」でダンス発表

商工会青年部より依頼を受け、雷電まつりのステージコーディネートを請け負った。ダンススクールの子どもたちは初めて屋外で発表をした。

◆ スラックラインサークル芸術むら公園で開催

ふれあい体育館が使用できなかつた為、芸術むら公園でサークルを初めて開催した。真夏ではあったが、木陰で気持ちよく実施できた。荷物の運搬面では大変さがあるものの、暑い体育館よりも快適な環境だった。



事業報告

主催イベント - 主催事業 -

【カヌー体験】

開催日：5月～9月（全5回）	◆実績	
場 所：芸術むら公園 明神池	5月28日	1名
対 象：誰でも	6月25日	4名
定 員：20名	7月30日	14名
	8月27日	13名
	9月11日	11名

◆ 開催時期の検討が必要

5月・6月は気候的に水辺の活動に興味が出にくい為参加者が少なかった。カヌー体験は人手が必要なプログラムの為、費用を考え、次年度は開催時期の検討又は最少催行人数を設けるなどをして効率の良い運営が必要。

◆ 広報方法や実施ターゲットの検討が必要

Sany TOMI主催でのカヌー体験は3年目となるが、初年度に比べると集客が厳しくなっている。主なターゲットが小学生になるが、目新しさがなくなっているかもしれない。小学校へのチラシ配布が広報方法だが、もっと大人の目に届く形の販促方法を考えていく。また、学校や企業など団体向けの開催も運営の身体教育医学研究所と相談をして進めていきたい。



【Feel Cooking】

開催日：12月～3月（全4回）	◆実績	
場 所：東御市中央公民館調理室	12月23日	10組 12名
Sany TOMIクラブハウス	1月27日	12組 14名
対 象：年長～小学2年生の親子	2月25日	12組 14名
定 員：10組	3月2日	16組 18名

◆ 各回定員となった

初の試みであったが、各回定員となり、需要の高さを感じた。参加者の反応も見ても「また参加したい」といった声が多く聞けた。次年度も開催出来るように進めていく予定だ。

◆ 収支バランスの調整が必要

材料費の予測がつかなかった為、講師にお任せで材料や内容を整えたが、参加費に対しての経費のバランスが取れていなく、利益を出す事ができなかった。今年度は開催をする事が目標であったが、次年度以降は利益が出せるように収支バランスの調整をする必要がある。



事業報告

東御市教育委員会 - 受託事業 -

【放課後子ども教室推進事業「げんき塾」】

対 象：市内小学校全校生徒

場 所：各小学校 校庭又は体育館

時 間：放課後 15：00～16：00

各校（5小学校）4回ずつ実施

	田中		和		滋野		北御牧		祢津	
	日	人数	日	人数	日	人数	日	人数	日	人数
1	6月21日	36	6月28日	27	7月12日	28	7月19日	19	9月13日	31
2	8月9日	20	8月2日	19	9月27日	30	8月23日	7	10月4日	28
3	10月18日	38	11月15日	28	10月11日	27	11月1日	16	12月6日	27
4	12月20日	37	1月17日	29	1月24日	28	1月31日	13	2月14日	25
計		131		103		113		55		111

前年よりも参加人数が増え、認知は高くなってきている。更に認知度向上を目指し開催していく。次年度は小中合同階差も検討しており、変化をさせながらより良い物にしていきたい。

活動の中に入れた「スポーツ鬼ごっこ」の活動がとても良かった。高学年のリーダーシップやチームプレイなどを養う事ができた。次年度は児童クラブや児童館との連携をしっかりと取り、特に参加人数の少ない北御牧小学校などは声掛けなどの協力を仰いでいきたい。



【ゆるっとスポーツクラブ】

対 象：北御牧・東部中学校 1～2年生 部活

場 所：各校中学校 体育館

動は問わず参加したい生徒、定員は設けない

各校5回ずつ実施

時 間：放課後 15：30～17：30

	北御牧		東部	
	日	人数	日	人数
1	5月17日	3	6月14日	2
2	7月5日	3	9月6日	2
3	9月20日	4	10月25日	2
4	11月22日	5	12月13日	3
5	2月7日	4	2月21日	2
計		19		11

参加人数が中々伸びないのが大きな課題だ。その中でも友達に誘ってもらって参加したなどと少しずつではあるが拡がりは見られた。学校の先生からのアプローチなどをお願いしていく必要がある。参加者の声としては、普段触れることのないニュースポーツが楽しいという声が聴けた。次年度に向けては小学校の「げんき塾」と合同開催をし、つながりのある活動としていく。また、当日参加を受け入れる体制の構築をしていく。

事業報告

一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション - 受託事業 -

【とうみ湯の丸アスリートクラブ】

◆アスリートケア

開催日：毎月第一金曜日

場 所：クラブハウス

対 象：小学生～大人 19：30～20：30

定 員：15名



〔参加人数〕

日	4/7	5/12	6/2	7/14	8/4	9/1	10/6	11/10	12/1	1/5	2/2	3/1
人数	11	9	11	7	9	8	6	9	3	5	3	4

延べ人数： 85 名

- 令和5年度より名称をより内容をイメージできるようにする為、「アスリートリカバリー」から「アスリートケア」に変更した。
- 会場を4月～9月はSany TOMIのクラブハウスで開催をしていた。現状の参加人数であれば問題がないが、10名を超えると狭さを感じられるかもしれない。他プログラムの関係でみまき福祉会のふれあいホールへ10月から移動した。ただし、令和6年10月頃までみまき福祉会の改修工事の関係で利用不可となり、その間はSany TOMIクラブハウスでの開催となる。
- 参加人数が伸びないことが大きな課題となる。初期より参加をしていたメンバーが学年が上がり、参加率が下がっている。新規参加者を募っていくが、必要性が伝わりにくいプログラムでもある為、アピールの仕方を考えていかなければならない。
- 新たな陸トレーニングのプログラムを今後検討していく。現在、Sany TOMIのスタッフでアジリティトレーニングの資格取得を進めている。令和6年度はプログラム化を目指しているため、これをアスリートクラブの一つとして開催していく予定だ。

◆スイムトレーニング

開催日：日曜日（月2～3回）

場 所：GMOアスリートパーク屋内プール

対 象：100m個人メドレーが泳げてかつ100mクロールを1分40秒以内で泳げる中高生 13：00～15：00

定 員：30名



〔参加人数〕

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
2	11	14	19	4	13	9	26	13	9	10	9
16	12	21	22	18	21	16	24	20	12	17	9

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
8	10	5	9	10	11	14	9	4	9	3	12
15	13	19	6	17	14	21	9	18	7	24	8
29	11	26	7	24	5	28	15	25		31	8

全30回 延べ人数： 350 名 平均参加率： 11.7名

事業報告

- ・ 延参加人数が350名となった。前年の302名を上回る参加となった。4月に上田市水泳協会の講演会に金藤さんが講師として参加をし、そこで広報をした結果、登録者が増えた。また、湯の丸のプールを個人で利用している方へ小山館長から直接案内をしてもらい、年度内でも少しずつ参加者が増えていった。
- ・ 参加者平均数も前年が10.1名だったが、今年は11.7名と増えた。特に5～7月は大会シーズンという事もあり、1回の参加が20名を超える事もあった。
- ・ 参加者が増えた事により、バスの乗車数も増え、定員となってしまう日があった。逆に冬場の参加が少ない時期はバス乗車が2～3名という事もあった。
- ・ 講師として新たに佐久長聖高校水泳部顧問の田中先生をお迎えした。温泉アクティブセンターの吉岡コーチがアクティブセンター人員不足により中々参加が出来なかった為、大変助かった。また昨年度は指導補佐として係わっていた小山館長も指導者として係わってもらい戦力として活躍いただいた。
- ・ 金藤さんの参加が7/19・8/20・3/3の3回だった。金藤さん目当てで参加をしている参加者もいるため、令和6年度はなるべく参加いただけるよう、声をかけていく。
- ・ 大きな課題は指導者不足だ。令和6年度からはアクティブセンターの吉岡コーチより参加ができない旨を言われている。新たに講師となっただけの方を小山館長や田中先生の紹介、ブルーマリンの指導者へ声掛けなどをし、指導者の層を厚くしていかなければいけない。
- ・ 夏場は参加人数が多く見込めるが、冬場になるとオフシーズンという事と、中学3年生は受験となる為、参加人数が大きく減る。令和6年度より、各回の練習テーマを講師より提示いただき、参加促進を図っていく。

イベント - 受託事業 -

【チャレンジデー】

開催日：5月31日(水)

対戦相手：北海道名寄市

内 容： ■日体大体操部の皆さんとチャレンジ15分体操動画撮影及び配信
■体育館であそぼう

結 果： 東御市 55.3%・名寄市 50.9% で東御市の勝利

2014年から参加をしていたチャレンジデーが2023年で全国一斉開催が終了となった。

昨年好評だった「体育館であそぼう」をはじめ、「ユニバーサルスポーツ体験」など様々なスポーツ体験ができるイベントや市内スーパーのご協力により「買い物ウォーキング」を実施するなど、当日は多くのイベントを市内各所で開催。

結果は本市の参加率が、55.3%で、名寄市の同50.9%を上回り勝利。通算成績は5勝4敗で、勝ち越して有終の美を飾ることができた。



事業報告

【田中まちなかフリーマーケット】

開催日：6月17日(土) 場所：田中商店街 内容：スラックライン体験

当初予定では駄菓子屋さんも出店予定だったが、直前で上菌、鈴木がコロナにかかってしまい、準備が出来なかった。更に上菌は隔離期間、鈴木は明けていたが、体調が万全でなかった為、スラックライン講師的場さんに手伝ってもらい、スラックライン体験を午前中のみで実施した。

【雷電まつり】

開催日：8月5日(土)

内容：駄菓子屋さん、スラックライン体験、ステージ発表

東御市商工会青年部に依頼いただき、ステージコーディネートと子どもたちの発表に加え、駄菓子屋さんとスラックライン体験の出店をした。

◆ 駄菓子屋さん

会員の子どもたちに声をかけ、お店屋さん体験をしてもらった。保護者同伴をお願いしていたため、駄菓子屋さんはほぼ会員さんで運営いただいた。

◆ スラックライン体験

炎天下での体験だったが、沢山の方に体験いただいた。

◆ ステージ

当クラブ、ダンススクール各クラス発表に加え、講師のスタジオ（SONA Dance studio、STUDIO EAST）や近隣で活動をしているダンススクールの発表も一緒に開催。

一番の心配は熱中症だった。幸い大事に至る方は出なかったが、来年も同様に開催をするのであれば、対策を考えたい。



事業報告

【火のアートフェスティバル】

開催日：10月7日(土)・8日(日)

内容：駄菓子屋さん、スラックライン体験、トランポリン体験

令和4年度より引き続き出店をした。

今年度は新たに「トランポリン体験」を加えて開催をしたが、沢山の方にご参加をいただいた。

◆ 駄菓子屋さん

雷電まつりと同様に会員の子もたちに声をかけ、お店屋さん体験をしてもらった。今回は子どもだけの参加も可としていた為、子どもたちだけの力での運営となった。子どもたちとスタッフで運営の流れを考えて実施ができた。2日目の午前中で完売となった。

◆ トランポリン体験

初の試みな上、有料の体験にしたので、参加人数の予想が出来なかったが、想像を大きく上回り、初日122名、2日目117名、2日間で239名の参加があった。スラックライン体験と同様で体を動かす体験が少ない、火のアートフェスティバルでは需要のある体験の提供ができた。

◆ スラックライン体験

景色の良い中で、沢山の方に体験いただいた。トランポリン体験は有料だったが、スラックラインは無料で参加が出来るため、選択肢があり、バランスのいい運営ができた。



事業報告

公益財団法人スポーツ安全協会 - 助成事業 -

【令和5年度スポーツ活動等普及奨励助成事業】

事業名：みんなでつくろう！自分たちの放課後活動！！

目的：「中学生」が自主的・主体的に活動ができる放課後活動を創り出す

内容：

- ① 実地調査〈中学生対象のワークショップ〉
- ② 保護者に向けたアンケート調査
- ③ 中学生が自ら考え準備をした活動の実施



① 実地調査〈中学生対象のワークショップ〉

〔1回目〕

日時： 11月22日(水)14:35～15:10
実施場所： 北御牧中学校・音楽ホール
参加者： 北御牧中学校 1・2年生
参加人数： 生徒48名、学校教諭3名

〔2回目〕

日時： 12月13日(水)15:30～16:00
実施場所： 東部中学校・体育館
参加者： ゆるっとスポーツクラブ参加生徒
参加人数： 生徒3名

放課後を「どのように過ごしたいか」を生徒たちに考え、出してもらった。

小学生の内に経験をした鬼ごっこやドッジボール、かくれんぼなどの遊びを求める声が多く、中学生に上がると競技スポーツ種目を体育で取り上げることが多く、小学生で体験をした遊びをする場面が少ないと考えられる。

身体活動に限らず、お友だちや先生方と会話を楽しむような活動やアニメ鑑賞など、コミュニケーションを求める声も上がった。身体活動が少ない層のニーズを叶えること、その層へ少しでも身体活動を増やす施策があると良いだろう。（底辺の底上げ）

② 保護者に向けたアンケート調査

- 部活動で心配や負担に感じることで、「送迎」や「休日の大会等への保護者の付き添い」など、保護者の時間を奪われることに負担を感じている。公共交通機関が発達していないため、練習場所へ移動をする際のサポート体制があると、保護者への負担は軽減されると考える。
- 「学校の部活動以外に入部したい部活動がない」や「学校の部活動以外のクラブ・教室に所属している」という回答がみられる。部活動だけでは補えないニーズをクラブ・教室に参加することで、望む活動ができていることはとても良いと感じる。部活動とクラブ・教室の両立ができるような体制づくりや時間設定ができると、地域の活動に参加しやすくなるだろう。
- 地域移行によって、「会費や道具代などの費用が増える」ことは必然であると感じる。これまで、部活動の時間には指導への対価はほとんどなく、長い間学校部活動として活動をしてきた。運動・スポーツ（部活動）への価値というものを保護者へ理解してもらうことが求められているだろう。
- 地域移行に向けて、送迎が困難、貧困の家庭が参加できないなどといった公平性が保てない場合、どのようなサポートが必要であるのかを今後検討していかなければならない。

事業報告

③ 中学生が自ら考え準備をした活動の実施

実地調査（中学生対象のワークショップ）で明らかになった中学生が求める内容となる、遊びや運動、スポーツを取り組むスペースと会話を楽しむスペースを設け実施した。

【1回目】

- ・日時：3月24日(日) 10:00～12:00
- ・会場：東御中央公園第二体育館
- ・対象者：市内中学生、新中学1年生
- ・参加人数：11名
- ・内容：
スポーツエリア>バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ソフトラクロス
楽しく運動エリア>トランポリン、ラダーゲッター、スラックライン、ダーツ、スパイクボール
カフェエリア>おしゃべり、カードゲーム イベント>TikTok撮影会

- 東御市では子どもの自然体験の場として「里山探検」という活動が定着している。そこでは子どもが全力で遊びに没頭できる環境を整え、自然の中で子どもらしく全身を使って遊び楽しめる時と場を提供している。（主催：楽育ひろばTomi）対象として、①0～3歳の子どもと保護者、②年中児～小学1年生、③0歳～高校生と保護者、④小学2年～6年生の区分がある。幼少期から遊びに親しみがあり、主体性を持って楽しむことを里山探検で体験をしたことのある生徒の参加が見られた。よって、本活動を通して中学生からのアプローチだけでなく、乳幼児期から遊び込む経験をし、学童期～青年前期が切れ目なく、主体的な身体活動を実現できる環境づくりが課題として挙げられる。
- 東御市は田中地区、和地区、祢津地区、滋野地区、北御牧地区の5地区に分類されている。公共交通機関がなく、車社会のため地区を跨いで移動をするにも、子どもだけで移動することは困難である。そのため、子どもの活動に対して保護者の理解は必要不可欠だ。送迎への負担を軽減するための工夫や、安全を確保された場で伸び伸びと自由に遊びや運動、スポーツが子どもたちにとって大切であることを子どもと関わる大人へ伝えていくことが求められる。



会員 ～利用会員～

令和 5 年 Sany TOMI 会員推移表

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計			
会員数	全体	実績	70	72	78	79	78	78	77	77	79	76	76	79	919		
		前年	70	73	78	79	79	79	78	79	80	77	77	88	937		
		前年差	0	-1	0	0	-1	-1	-1	-2	-1	-1	-1	-9	-18		
	未就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小中学生	64	66	72	73	72	72	71	70	72	69	69	72	842			
	高校生以上	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24			
成人	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	53				
入会	全体	実績	7	3	4	1	0	0	0	3	1	0	1	16	36		
		前年	8	4	5	1	1	0	0	3	1	0	1	11	35		
		前年差	-1	-1	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0	5	1		
	スタート	当月	次月	当月	次月	当月	次月	当月	次月	当月	次月	当月	次月	当月	次月	0	
	未就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	
	小中学生	3	2	1	2	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	2
高校生以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
成人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
休会	全体	実績	0	0	1	2	1	1	0	0	1	1	0	1	8		
		前年	0	0	1	2	1	1	0	0	1	1	0	1	8		
		前年差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	未就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小中学生	0	0	1	2	1	1	0	0	1	1	0	1	8			
	高校生以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
退会	全体	実績	1	0	0	1	0	1	2	0	3	1	0	16	25		
		前年	1	0	0	1	0	1	2	0	3	1	0	16	25		
		前年差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	未就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	小中学生	1	0	0	1	0	1	2	0	3	1	0	14	23			
	高校生以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2				

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	
登録者数	こども運動スクール	実績	24	26	27	27	27	27	27	27	27	27	28	321	
		前年	10	11	16	17	17	17	17	18	19	21	22	23	208
		前年差	14	15	11	10	10	10	10	9	8	6	5	5	113
	ダンススクール [㊟]	実績	13	13	16	16	16	16	16	16	16	15	15	17	185
		前年	2	5	8	8	13	13	13	13	14	16	16	16	137
		前年差	11	8	8	8	3	3	3	3	2	-1	-1	1	48
	ダンススクール [㊟]	実績	20	20	20	21	22	22	22	22	22	22	22	25	260
		前年	4	4	7	8	5	10	14	15	16	17	17	13	130
		前年差	16	16	13	13	17	12	8	7	6	5	5	12	130
スラックライン	実績	15	15	17	17	17	17	17	17	18	18	19	18	205	
	前年	7	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	12	119	
	前年差	8	5	7	7	7	7	7	7	8	8	9	6	86	

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
	アスリートケア	13	14	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	217
	スイムトレーニング	27	39	43	43	43	43	43	43	44	46	46	46	506
	サポート個人	5	12	13	13	15	15	15	16	16	16	16	16	168
	サポート企業	4	13	17	18	18	20	20	20	20	22	22	22	216

会員 ～サポート会員～・会議他

◆ 個人会員 16名

◆ 企業会員 22社

一般社団法人信州とうみ観光協会・医療法人 緑風会・上田信用金庫とうみ支店
エボシ山急送株式会社・株式会社ヴィラデストワイナリー・株式会社エフエムとうみ
株式会社信州東御市振興公社・株式会社第三木材・株式会社八十二銀行田中支店
コトヒラ工業株式会社・佐久浅間農業協同組合・社会福祉法人みまき福祉会
信州うえだ農業協同東御支所・信州うえだ農業協同組合東御支所・瀬田木工所
東御市建設業協会・東御市商工会・成夢建設・ひかり整骨院・ヒカリ素材工業株式会社
有限会社御菓子処花岡・有限会社三井金属

◆ 会議

6月4日	一般社団法人Sany TOMI	令和5年度第1回理事会
6月26日	一般社団法人Sany TOMI	令和5年度定時総会
11月6日	一般社団法人Sany TOMI	令和5年度第2回理事会
2月22日	一般社団法人Sany TOMI	令和5年度第3回理事会

◆ 役員

理事長：篠原博文（東御市スポーツ少年団・前本部長）
副理事長：岡田真平（公益財団法人身体教育医学研究所・所長）
専務理事：上藺美千代（一般社団法人Sany TOMI・クラブマネージャー）
理事：中堀雅夫（特定非営利活動法人東御市スポーツ協会・会長）
 鈴木清香（一般社団法人Sany TOMI・アシスタントマネージャー）
監事：清水正博（東御市スポーツ推進委員）
 東御市文化・スポーツ振興課・課長